

あおい幼稚園 自己評価 (令和4年度)

評価は、「A:他の保育者に指導できる、B:自らの力で出来る、C:指導されれば出来る、D:まだ出来ていない」という、自分個人の能力だけではなく、園の中での自分の果たすべき役割を意識した基準となっている。

- A:他の保育者に指導できる 3ポイント
- B:自らの力で出来る 2ポイント
- C:指導されれば出来る 1ポイント
- D:まだ出来ていない 0ポイント

として配点して全体の達成率を算出した。

職員自己評価 総評

昨年度に比べ、15項目中14項目の達成率がアップし、ダウンしたのは1項目で、6%のダウンだった。

●令和3年度までに比べるとずいぶんと活動を広げることができた。とくに日々の保育、教育（コロナ対応以前に行っていた遊び、音感、合唱など）に関しては、感染症対策は行いながら、出来る限りコロナ以前のように伸び伸びと活動できるように工夫したこともあり、職員自身も子ども達の成長の手ごたえを感じることができていたようだ。

●参観、懇談も徐々に増やすようになった。それにプラスして、ゆめねっとの配信を行った。口頭での声掛けも積極的に行うよう心掛けたが、上手く伝えられないことも多く、個々人で伝え方を悩んでいる様子もうかがえる。

●発達の気になる子ども、障がい児保育のスキルがより求められるようになってきていると感じている職員が多い。子どもによって困っている事、発達の段階も違うため、その子に合わせて工夫しながら対応しているが、職員が対応に悩んだ時に、対応を専門家などにすぐに相談できる環境を作りたい。

園長・主任評価 総評

昨年度に比べ評価が下がった項目、「園長・主任評価」と「職員自己評価」に差がある項目についても、10%以上下がっている項目はなかった。(下記参照)

《昨年度に比べ評価が下がった項目》

- ⑦子ども一人ひとりに対応できる保育を行っているか (7%↓)
- ⑩集団感染防止のために必要な対策を熟知し、行動に反映できているか (8%↓)
- ⑪遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行っているか (9%↓)
- ⑫気になる子どもの保育、障がい児保育などについて理解し、実践できているか (8%↓)

◀「園長・主任評価」の方が「職員自己評価」より低かった項目（園長・主任評価／職員自己評価）▶

- ①社会人として意識を持ち、組織について理解し、行動しているか (69%/78%)
- ④チームワークの重要性を理解して行動しているか (67%/73%)
- ⑤職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導いているか (63%/73%)
- ⑥子どもに対し、基本的な生活習慣の習得のための適切な支援が出来ているか (67%/75%)
- ⑬保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し、実行できているか (65%/73%)

上記の項目については、再度園内で見直しを行いたい。特に感染症対策については、最低限の対策は行いつつ、子ども達が伸び伸びと園生活を行えるように対応を変化させていきたい。

また、未満児の遊びの環境をもっと充実させ、縦割りでの交流も積極的に行うことで年齢が上の子ども達の成長も促したい。

個人別に課題とする項目は異なるため、自己評価と園長・主任評価に差がある場合は自覚を促すと共に、評価すべきところは積極的に認めていく事で意欲を高めるように、この結果を活用したい。

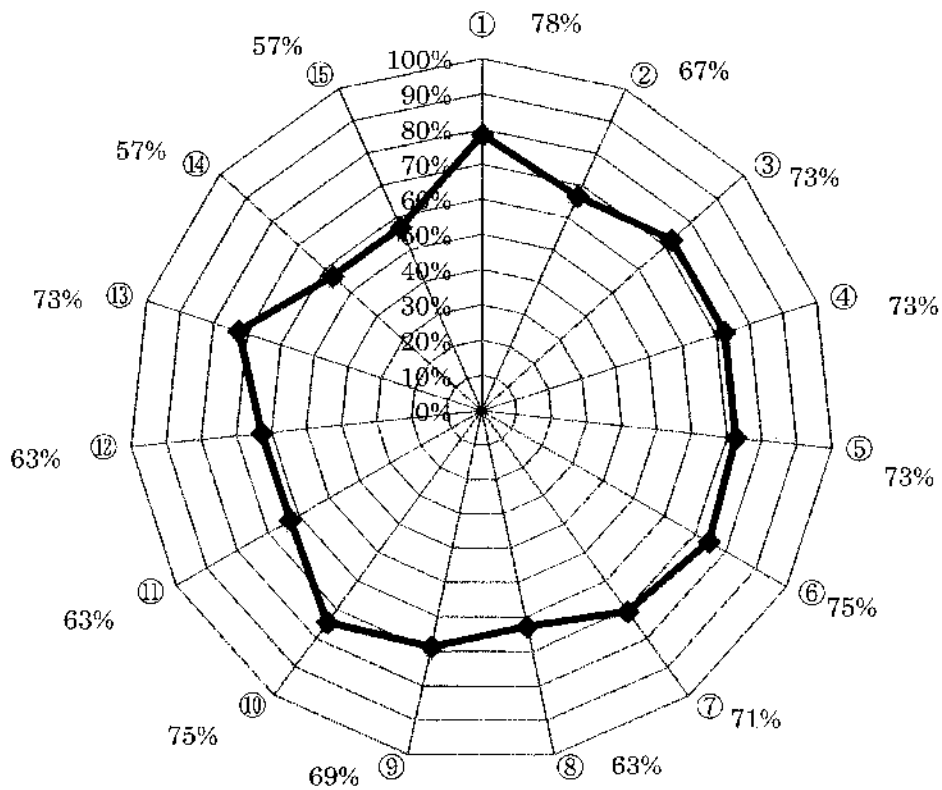
また、昨年度課題としていた項目については、下記の通り改善されている様子が見えてくる。

- ⑤職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導いているか 53%→63%
- ⑬保護者との間で適切なコミュニケーションを行えているか 53%→65%

今後の課題

- ◎ 発達気になる子ども・障がい児保育について、全体で話し合いの場、研修の機会を増やし、職員個人が対応に悩んだ時に、対応を専門家などに相談できるような環境を作ること
- ◎ 子ども一人ひとりに対応できる保育・幼児教育を行えているかどうか、園全体、職員個々人で振り返る機会を多くする事
- ◎ 未満児の遊びの環境をより充実させること
- ◎ コロナ渦中で少なくなった学年を超えた交流を増やすこと
- ◎ 自己評価項目の再検討

あおい幼稚園 職員自己評価 (令和4年度)



園長・主任評価 (令和4年度)

